

• 未経験OK | 製薬・治験キャリア

検査の経験は 治験・製薬で武器になる

臨床検査技師の職務経歴書は、検査業務の羅列で終わらせず次のキャリアに接続して書くようになります。



検査の仕事しか書くことがなくて...
この経歴で大丈夫でしょうか...!?

大丈夫よ。「正確に測る」力、あの業界が欲しがっているの。



● 検査経験が治験・製薬で評価される理由



仕事の土台

治験・製薬の仕事は「正確なデータ」が土台



検査で培った力

精度管理・SOP順守・検査値の解釈がそのまま重なる



市場データ (job tag)

臨床検査技師の平均年収は**482万円**、就業者数
82,720人の専門市場

潰しがきかないのではなく、書き方しだいで別の領域への切符になるのよ。



● 迷わない職務経歴書の5項目

1 職務要約
検査分野と経験年数を3行前後で

2 職務経歴
どこで・何を・どのくらいを具体化

3 活かせる知識・スキル
精度管理とデータの正確性を言語化

4 保有資格
臨床検査技師免許と関連資格を明記

5 自己PR
志望職種で生きる強みに接続

上から順に埋めていけばいいんですね…！



● 検査経験を活かせる4職種と接続点



CRA（臨床開発モニター）

データ精度への理解を強みに



CRC（治験コーディネーター）

院内連携と検査知識を強みに



データマネジメント・生物統計

数値管理の正確性を強みに



安全性（PV）は検査値の解釈力が強み。得意な検査経験で進む道が絞れる。

なるほど！



● 提出前に見直す2つの落とし穴

1 検査業務の羅列で終わる
担当検査のあとに工夫・成果を一言添える

2 専門用語がそのまま
応募先の職種に伝わる言葉へ言い換える

並べただけだと、どう働いたかが見えないんですね…！



• まとめ | 検査経験を接続して書く

- ✓ 5項目で実務の中身を具体的に書く
- ✓ 担当領域と規模を数字で示し成果を添える
- ✓ 志望職種に合わせて強みを書き分ける

まずは自分の経験のどこが強みになるか、書き出すところから。
検査で磨いた正確さは、ちゃんと次のキャリアへ届くわ。

